

### 13階 UZUMAKI

右側が渦巻き型書架、奥にはグループ学修用スペースがある



### 14階 MORI & SORA

山型書架やさまざまな座席があるMORIと、開放感あふれるSORA



数字で読み解く専大図書館(2018年度)

総蔵書数	192万6569冊
本館	131万8403冊
生田分館	9万2091冊
神田分館	49万1562冊
法科大学院分館	2万4513冊
年間総貸し出し数	11万7337冊
年間延べ入館者数	61万883人

※各館の開館状況やデータベースなどの使い方については、図書館ウェブサイトで確認してください。



図書館のウェブサイトでは、さまざまな電子リソースを提供している。本学所蔵の主要なデータベース、電子ブック、電子ジャーナルなどを横断的に検索できる「Senshu Discovery」、学内発行の論文などの論文が読める「SIBOX(専修大学学術機関リポジトリ)」など、学外からも利用できるツールもあるので大いに利用してほしい。図書館インスタグラム(@senshu.lib)でも情報を発信している。

# 図書館特集

図書館長に廣瀬玲子文学部教授が4月1日付で就任した。任期は2年間。今年度、神田10号館に新たな図書館Knowledge Base(ナレッジ・ベース)が完成し、本学の図書館は5館となった。廣瀬図書館長の寄稿とともに、図書館の概要を紹介する。

## 寄稿

### 多様な言語とともに軽やかに生きる図書館

図書館長 廣瀬玲子

専修大学は1880(明治13)年に創立された伝統ある大学であり、今年140周年を迎えました。この記念すべき年に、神田キャンパスに新しい図書館であるKnowledge Baseがオープンし、わくわくしています。本学は、アメリカの大学に留学した4人の若者が、身につけた知識を、日本語に翻訳し、日本語で教えるようと考えて設立されました。



た。図書館には、その歴史を物語る学術図書、参考図書、文学書などが所蔵され、皆さんの利用を待っています。特に今回お知らせ

## さまざまな「知」を集積

本学には生田キャンパスに本館と生田分館、神田キャンパスに神田分館、法科大学院分館、Knowledge Baseの計5館がある。専門書、文芸書、論文から新聞、雑誌まで多種多様な「知」が集積されている。

Knowledge Base 13階エリアは「UZUMAKI」。ゲートを入ってすぐの渦巻き型書架には図書館からの情報を発信するサイネージや情報検索端末が並び、話題の新刊書などを紹介する。設置されたタブレットでは雑誌の電子版や電

子書籍が利用できる。また、グループ学修用のスペースがある。14階エリアのメインは静かな森をイメージした「MORI」。高さの違う山型の書架や、木のぬくもりが感じられるさまざまな種類の座席がある。周囲の音を吸収する個別ブースでは静かな環境で学修に集中できる。靖国通りに面したエリアは「S

ORA」。開放感あふれる空間では、都心を一望しながら、本や思索と向き合える。

★ 生田キャンパスの本館は延べ床面積1万7419平方メートルと広く、所蔵資料も約132万冊に上る。アクティブラーニング・プラザでは映像作品の閲覧も可能。生田分館は文芸書などを多く集めた。神田分館は1階から地下2階まであり、専門書が多

★ 図書館のウェブサイトでは、さまざまな電子リソースを提供している。本学所蔵の主要なデータベース、電子ブック、電子ジャーナルなどを横断的に検索できる「Senshu Discovery」、学内発行の論文などの論文が読める「SIBOX(専修大学学術機関リポジトリ)」など、学外からも利用できるツールもあるので大いに利用してほしい。図書館インスタグラム(@senshu.lib)でも情報を発信している。

## 大学時代 思い出の作品

大学に入ったころ、よく読んでいたのが福永武彦の小説でした。「草の花」「廃市・飛ぶ男」など新潮文庫に入っている作品に始まり、他の出版社の文庫や単行本へと興味のおもむくままに読みました。福永は大学ではフランス文学を専攻しましたが、日本の古典の翻訳をしたり、映画「モスラ」の原作者の一人でもあったりと多方面に才能を発揮した作家です。加田伶太郎(ダレダロウカのアナグ

ラム)の筆名で推理小説も書いています。大林宣彦監督が福永の小説を映画化した「廃市」(1983)が公開されるとすぐに映画館に行き、そのあと友人を誘ってもう一度見たことを憶えています。「廃市」とは何だろうと思われるかもしれませんが、滅びゆく町というような意味であり、ある大学生が卒業論文を書くために、時間が止まったような町でひと夏を過ごすなか、物語は展開します。専修大学図書館にはDVDが所蔵されています。

したいのは、Knowledge Baseで、日本語の書物と外国語の書物を、書架を分けずに並べて配置していることです。日本語の本を手にしたあとに、すぐ隣にある同じ分野の外国語の本を手にすることができます。

この新鮮な体験をぜひ味わってみてください。レイアウトやデザイン、配色も、落ち着いた学ぶことのできるすばらしい空間となっています。生田キャンパスの図書館も、皆さんにとって居心地のいい場所になるように、改良を重ねています。大学ならではの魅力をそなえた図書館を、どうぞ活用ください。

SMBCグループ

SMBC

三井住友銀行

確実にやるのはどこでもできる。確実に速くやるからこそ「価値」になる。

MIZUHO

みずほ銀行

One MIZUHO

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みを通じて、豊かな環境、経済・産業・社会の持続的な発展・繁栄に貢献していきます。

One MIZUHO